

2025年3月期 中間決算説明会

株式会社リミックスポイント

©2024 Remixpoint, inc. All rights reserved.

本日は、株式会社リミックスポイント 2025年3月期 中間決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

株式会社リミックスポイント 代表取締役の高橋由彦です。

2025年3月期 第2四半期（中間期）業績概要

早速ですが、2025年3月期 中間決算につきまして、連結業績から説明させていただきます。

2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結累計期間実績

今期からスタートした容量拠出金負担の影響を受け、前年同期比で減益となった

(百万円)

		2024年3月期 中間実績	2025年3月期 中間実績
売上高	エネルギー事業	9,703	10,148
	レジリエンス事業	349	465
	メディカル事業	—	654
	その他	102	—
	合計	10,155	11,269
営業 損益	エネルギー事業	1,222	811
	レジリエンス事業	14	28
	メディカル事業	—	105
	その他	6	▲1
	セグメント調整額	▲374	▲393
合計	868	551	
経常利益		829	508
親会社株主に帰属する当期純利益		900	427

2025年3月期 中間連結業績につきましては、売上高112億円、営業利益5億5,100万円、経常利益5億800万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億2,700万円となりました。

売上高につきましては、エネルギー事業及びレジリエンス事業において売上が伸長したことと、また前期より、当社の報告セグメントに新たに追加されたメディカル事業における売上が寄与したことにより、前年同期比で増収となりました。

営業利益につきましては、主にエネルギー事業において容量拠出金が原価計上されたことにより利益が押し下げられ、5億5,100万円での着地となりました。

2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結累計期間実績

今期からスタートした容量拠出金負担の影響を受け、前年同期比で減益となった

(百万円)

		2024年3月期 中間実績	2025年3月期 中間実績
売上高	エネルギー事業	9,703	10,148
	レジリエンス事業	349	465
	メディカル事業	—	654
	その他	102	—
	合計	10,155	11,269
営業 損益	エネルギー事業	1,222	811
	レジリエンス事業	14	28
	メディカル事業	—	105
	その他	6	▲1
	セグメント調整額	▲374	▲393
合計	868	551	
経常利益		829	508
親会社株主に帰属する当期純利益		900	427

各セグメントの業績についてご説明いたします。

まず、エネルギー事業につきましては、売上高101億円、セグメント利益8億1,100万円となりました。

エネルギー事業は主に電力小売事業を営んでおります。

エネルギー事業を取り巻く事業環境としましては、JEPXにおける取引価格が、前年同期比で1 kWhあたり平均2円程度の上昇がみられたものの、天然ガスや石炭の取引価格は前年並みで推移し、比較的平穏な事業環境が継続しました。

このような状況下、エネルギー事業では、新規営業活動の強化や顧客ニーズに合った新プランリリースなどの取り組みにより、高圧や低圧法人の契約が増加し増収となりました。

一方、セグメント利益につきましては、2024年4月から9月までの容量拠出金約7億4,500万円を売上原価に計上したことで、前年同期比で減益となりました。

しかしながら、来期2026年3月期は、容量拠出金総額が減少する見込みのため、セグメント利益の回復を想定しております。

2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結累計期間実績

今期からスタートした容量拠出金負担の影響を受け、前年同期比で減益となった

(百万円)

		2024年3月期 中間実績	2025年3月期 中間実績
売上高	エネルギー事業	9,703	10,148
	レジリエンス事業	349	465
	メディカル事業	—	654
	その他	102	—
	合計	10,155	11,269
営業 損益	エネルギー事業	1,222	811
	レジリエンス事業	14	28
	メディカル事業	—	105
	その他	6	▲1
	セグメント調整額	▲374	▲393
合計	868	551	
経常利益		829	508
親会社株主に帰属する当期純利益		900	427

レジリエンス事業におきましては、売上高4億6,500万円、セグメント利益2,800万円と、ともに前年同期を上回る結果となりました。

主に、蓄電池事業において、蓄電池の販売代理店の開拓や販売活動を積極的に推進したことから、当社オリジナルブランドの家庭用蓄電池「remixbattery」の販売台数が大きく伸長し、増収増益となりました。

レジリエンス事業では、今後、家庭用蓄電池のみならず、小型産業用蓄電池も販路拡大を進め、さらなる収益獲得に努めてまいります。

メディカル事業におきましては、売上高6億5,400万円、セグメント利益1億500万円となりました。

メディカル事業の事業概要については、後ほど述べさせていただきます。

2025年3月期 通期連結業績予想の上方修正

主にエネルギー事業における売上高及び営業利益が大きく伸長したことから、
2025年3月期通期連結業績予想を上方修正

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
修正前予想	21,100	640	640	600
修正後予想	24,200	835	790	685
増減額	3,100	195	150	85
増減率	14.6%	30.4%	23.4%	14.1%

※2025年3月期通期連結業績予想には、保有暗号資産に係る損益は含まれておりません。
※2024年11月20日時点の保有暗号資産の評価損益は、809百万円です。

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表した2025年3月期の連結業績予想を上方修正しました。

先ほども申しあげましたとおり、当社のエネルギー事業においては、エネルギー価格が安定して推移する中、代理店とのリレーションの強化や需要家のニーズに合わせたプランの多様化を図り、順調に需要家数を増やしてまいりました。

その結果、主にエネルギー事業における売上高及び営業利益が大きく伸長し、2024年5月14日に公表した通期連結業績予想を上回る見通しとなったことから、上方修正することといたしました。

なお、新たな通期連結業績予想には、保有暗号資産に係る損益は含まれておりませんが、11月20日時点における保有暗号資産の評価損益は約8億円となっております。

また、実際の通期業績につきましては、業況の変化により予想と大きく乖離する可能性もありますが、開示すべき新たな修正等が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2025年3月期 第2四半期（中間期）主な事業別トピックス

続いて、各事業の主なトピックスについて説明いたします。



四半期毎の売上高・販売電力量推移



※「その他」には、電力市場において余剰電力を販売した売上や、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」における補助金売上が含まれます。

まずエネルギー事業です。

こちらは、電力の販売量と高圧・低圧別の売上高推移となります。

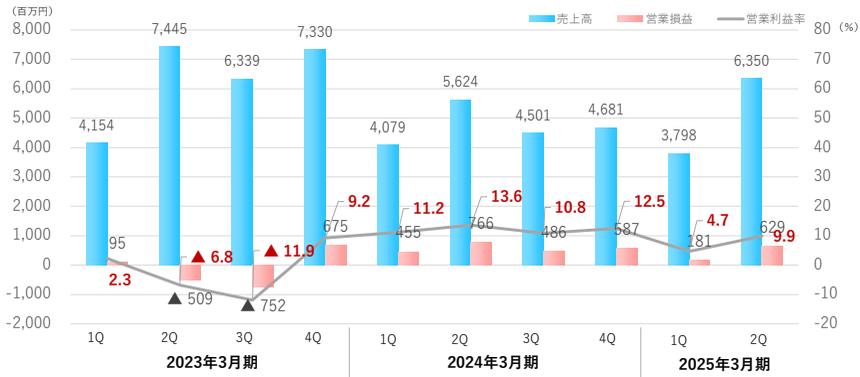
当社では高圧、低圧ともに、電力販売価格がJEPX取引価格に連動する市場連動型プランの比率が高いため、JEPX取引価格の上昇が増収につながる傾向にあること、また、高圧及び低圧法人の需要家数が順調に増加したことから増収となりました。

エネルギー事業（電力小売事業）



2025年3月期から容量拠出金負担が発生し、当期第2四半期（7～9月）は376百万円を原価計上した影響から、営業利益率は前年同期比▲3.7%の9.9%となった

四半期毎の売上・営業利益推移



2025年3月期の業績予想は容量拠出金の負担を想定済。
電力販売量の増加により、当中間期までの売上および営業利益は当初計画を上回る進捗で推移

セグメント利益につきましては、今年4月から始まった容量市場における容量拠出金制度の開始により減益となりました。

2025年3月期において当社が負担する容量拠出金概算金額は、総額約14億8,600万円であり、当中間連結会計期間において、6か月分の約7億4,500万円が売上原価として計上され、利益を押し下げる要因となりました。

なお、来期2026年3月期は、小売電気事業者が負担する拠出金の総額が減少する予定となっており、これによって当社が負担する拠出金額も減少し、セグメント利益も回復する見込みです。



容量拠出金制度を見据えた新プランへの移行により、契約総容量は前中間期に減少。
 当中間期では順調に回復し、新プラン移行前の水準に回復

高圧需要家の契約総容量推移



こちらは、高圧需要家の契約総容量の推移です。

当社は、今年度より始まる容量拠出金の支払いに備え、2023年7月に全面的な新プランへの移行を実施いたしました。

これにより同時期の解約数が増加し、一時的に高圧需要家の総契約容量が減少いたしました。

しかしながら、その後、販売代理店網の強化や積極的な新プランのリリースなどの活動を推進した結果、現在は、新プラン移行時の水準以上に回復してきております。



低圧個人の需要家数は減少しているものの、電力使用量の多い法人需要家の獲得が堅調に推移。
低圧全体の使用電力量は前年同期比で増加となった

法人・個人別の低圧需要家獲得状況推移



次に低圧です。

右側の低圧個人需要家については、本年4月より新規受付を再開しております。

契約件数の減少傾向が続いておりますが、これから新たな施策をうってまいります。

一方、代理店とのリレーション強化等によって獲得を強化している低圧法人需要家については、契約件数を着実に積み上げることができております。



Non-FIT低圧太陽光発電所を開発し、発電を開始



- 東京電力エリアの第1号機が連系完了し、発電を開始
- 2025年3月までに30～35か所のNon-FIT低圧発電所の開発を予定。当中間期までに、東京電力・東北電力エリア22か所で開発に着手
- 発電した電気は、当社再エネ電源として活用を予定しており、将来的には需要家との直接契約（PPA等）も検討

社会に再エネの可能性を広め、
「創電・発電・蓄電を創造する」電力・エネルギービジネス企業へ

当社はグリーンエネルギーの普及や電力小売市場の脱炭素化に寄与し、持続可能な社会を実現するための第一歩として、本年7月よりNon-FIT低圧太陽光発電所の開発を推進しており、10月10日に東京電力エリアの第1号機が運転を開始しました。

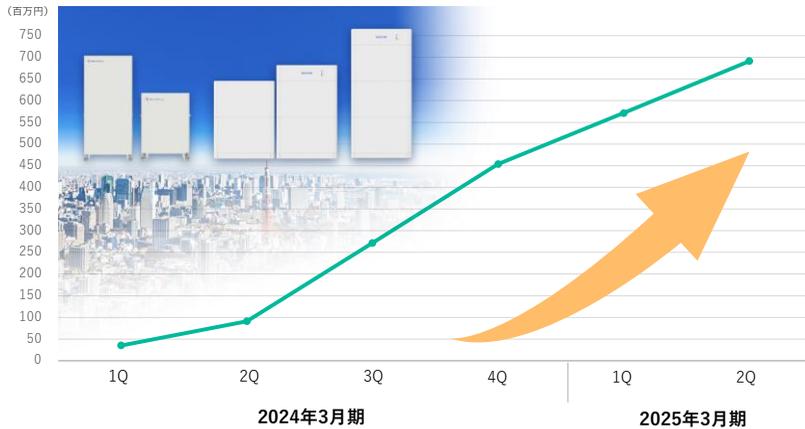
Non-FIT低圧発電所は、2025年3月までに30～35か所の開発を行い、発電した電気を当社再エネ電源として活用する予定です。

また将来的には、PPA等、需要家との直接契約も検討しております。



家庭用蓄電池の販売台数の伸長を受け、蓄電池の販売売上は順調に増加

蓄電池販売売上（累計）



続いてレジリエンス事業です。

レジリエンス事業は、主に蓄電池事業において、販売代理店の開拓や販売活動を積極的に推進し、蓄電池の販売台数が順調に伸長したことから、増収増益となりました。

現状は、家庭用蓄電池の販売割合が多いものの、今後は小型産業用蓄電池の販売も強化し、販路を拡大してまいります。

レジリエンス事業（蓄電池）

子会社シールエンジニアリングが一般建築業許可を取得。
蓄電池の販売から設計施工、O&Mまで、設置工事も含めたワンストップサービスを提供

SE Seal Engineering

当社および当社パートナー企業に蓄電池に関する下記のサービスを提供

- 設計
- 施工
- 運営、保守

再エネアグリゲーション事業を目的に、蓄電池事業の更なる拡大へ

RP Remixpoint ©2024 Remixpoint, inc. All rights reserved. 14

また、蓄電池事業では、2024年7月1日付で連結子会社である株式会社 ジャービスを株式会社シールエンジニアリングに商号変更し、同社で、新たに再エネアグリゲーション事業を目的とした蓄電池事業を開始いたしました。

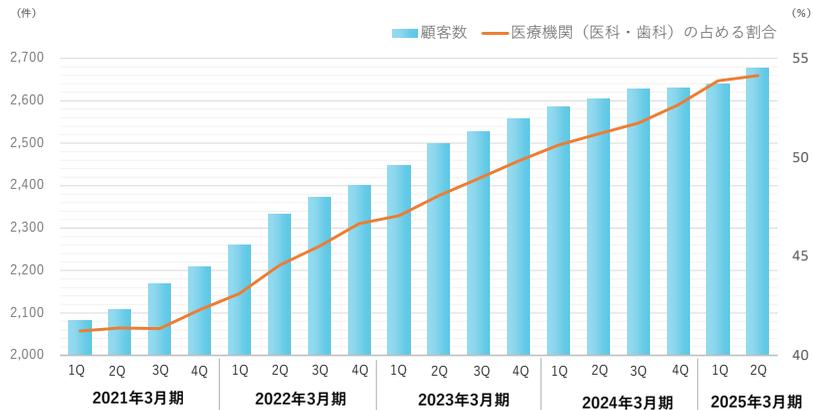
今後、シールエンジニアリングでは、蓄電池事業のさらなる収益拡大を目指し、蓄電池の設計・施工・運営・保守をワンストップで提供してまいります。

メディカル事業（医療機関向けウェブマーケティング事業）



WEB制作及び広告運用、マーケティングソフトウェアの導入を通じ、医療機関等の営業活動を支援。顧客数は医療領域を中心に順調に増加

顧客数推移



続いて、メディカル事業です。

ゼロメディカルの売上高の多くを占める医療機関向けウェブクリエーション事業においては、歯科領域の顧客が全体の約4割を占めており、その割合は年々増加傾向にあります。

歯科領域の顧客数が増加したことも影響し、2024年9月末時点における顧客数は約2,700件となりました。

今後、ゼロメディカルは、医療のトータルコンサルティング企業として更なる領域の拡大、顧客獲得を目指します。

メディカル事業（医療機関向けウェブマーケティング事業の概要）

MLTV MARKETING
Medical Life Time Value 選ばれ続ける医院へ

MLTV = 平均価格 × 来院歩度 × 来院継続期間

新規患者 **患者定着** **スタッフ定着**

経営課題

デンタルマイクロスコープCLINIC
歯医者の選び方。ムダに用らない歯科医療
患者の悩みと精密歯科治療を繋ぐ歯科特化情報サイト

医脳AI
ChatGPTと自社データを連携させることで顧客の質問に対し自動回答するAIチャットボット

WMM (Web Marketing Manager)
選ばれ続ける医院になるために、HPで集客拡大を目指す簡単運営管理ツール

医脳369
診療予約やオンライン診療、顧客管理等まで一括管理

HAHITO
医療従事者と医療機関を結ぶ求人サイトの運営

Remixpoint ©2024 Remixpoint, inc. All rights reserved. 16

ゼロメディカルでは、医療機関の「MLTV（メディカルライフタイムバリュー）」を向上させるサービスを提供しています。

具体的には、医療機関が患者様のライフステージに合わせた医療を提供し、長期的且つ安定した経営を実現するため、「新規患者の獲得」、「患者の定着」、「働く医療従事者の定着」の観点から、総合的に支援しております。

今後も、「MLTV（メディカルライフタイムバリュー）」を軸としたサービスを展開し、収益機会の創造に取り組んでまいります。

金融投資事業（暗号資産投資）

キャッシュ・マネジメント戦略の一環として、**総額30億円の暗号資産を購入**

約24.6億円



ビットコイン
(BTC)

約1億円



イーサリアム
(ETH)

約2.7億円



ソラナ
(SOL)

約0.5億円



アバランチ
(AVAX)

約0.5億円



リップル
(XRP)

約0.5億円



ドージコイン
(DOGE)

最後になりますが、当社は、すでに開示の通り、事業投資の一環として暗号資産の購入を決議し、本日までに、総額30億円の購入を完了しております。

また、本日11月25日開催の取締役会において、新たに5億円の暗号資産を購入することを決議いたしました。

暗号資産の市場環境につきましては、現在、これまで繰り返されてきたようなビットコインの半減期後の価格上昇トレンドに加え、米国における大統領選挙の結果を受け、ビットコイン価格が過去最高値を更新し続けています。

また、今後、米国においては、さらなる暗号資産に係る規制の緩和や国内においても、税制の見直しなども期待されております。

当社は、これまでの暗号資産への知見をもとに、引き続き市場をとりまく動向を注視し、適切なリスク管理を行いながら、収益の獲得に努めてまいります。

なお、当社が保有する暗号資産の評価損益につきましては、今後も月次で継続的に開示してまいります。

金融投資事業（暗号資産投資）

<ご参考> 11月20日時点における保有暗号資産の評価損益

	保有枚数	取得価額 (円)	平均取得単価 (円)	時価評価額 (円)	評価損益 (円)
ビットコイン	215.7576009 BTC	2,468,110,300	11,439,273.93	3,172,559,492	704,449,192
イーサリアム	227.872223 ETH	101,654,400	446,102.63	110,718,100	9,063,700
ソラナ	9674.36814 SOL	274,172,800	28,340.12	360,437,934	86,265,134
アバランチ	11875.994907 AVAX	56,062,500	4,720.65	63,771,361	7,708,861
ドージコイン	828500.41425 DOGE	50,000,000	60.35	50,320,630	320,630
リップル	295333.727112 XRP	50,000,000	169.30	52,003,544	2,003,544
合計	-	3,000,000,000	-	3,809,811,061	809,811,061

こちらは、ご参考となりますが、11月20日時点における保有暗号資産の時価及び評価損益です。総額30億円の投資に対し、評価額は38億円、評価益はおよそ8億円となっております。

繰り返しになりますが、修正後通期連結業績予想には、保有暗号資産に係る損益は含まれておりません。

今後、連結業績に著しい影響が生じる場合には、速やかに開示いたします。

金融投資事業

新たに **金融投資事業** を開始

主な事業内容

- 株式等の証券への投資
- 暗号資産への投資
- 貸金業者に認められる業務



当社グループ全体における投融資事業をひとつの収益の柱として、
当社グループの収益性の向上を図る

ご説明申し上げました、暗号資産投資のほかにも、当社の連結子会社であるゼロメディカルにおいて、新たに医科歯科向けの金融サービスを提供することを目的とし、貸金業者の登録を行いました。

このような状況を総合的に鑑み、当社は、今後、当社グループ全体における暗号資産投資、株式投資及び融資等に係る投融資事業を一つの収益の柱ととらえ、新たに「金融投資事業」としてグループ全体の収益性の向上に努めてまいります。

留意事項

- ① 本資料に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。

以上で、リミックスポイント 2025年3月期中間決算の説明とさせていただきます。

ご視聴ありがとうございました。

※質疑応答については、特に質問はなく、説明会は終了した。